

今回もまたまた
特別オンライン編！

【2020年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】

地域日本語教室ボランティアのための

活動基礎講座 ～秋冬の回～

ボランティア教室で活動を始めたばかりの皆さん、「日本語学習支援って何だろう」とか「外国人の学習者と楽しく時間を過ごせるのだろうか」とか、様々な不安をお持ちではないかと思います。そんな不安を抱いている方々のために、皆さんの日々の活動がより実り多いものになることを願って、「地域日本語教室ボランティアのための活動基礎講座～秋冬の回～」を行います。皆様、ぜひご参加ください。

開催日	各回のテーマ・講師	
	午前 10:00-12:00	午後 1:00-3:00
1 1月24日 (日)	A1 ★外国にルーツをもつ方からの視点で見る 「多文化共生の社会の中で、地域日本語教室に期待される役割」 楊 梓 (阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター)	B1 ★ 「地域での日本語教育の実践」に学ぶ ～横浜市から～ 門 美由紀、藤井美香 劉玉珊 (元学習者) (公益財団法人 横浜市国際交流協会/YOKE)
2 1月31日 (日)	A2 「日本に暮らす外国人にとっての在留資格とは？」 東京都行政書士会品川支部 長岡 由剛	B2 ★「特定分野での日本語教育の実践」に学ぶ 「留学生は今…、技能実習生は今…」 山本 弘子 (カイ日本語スクール) 栗又 由利子 (きぼう国際外語学院)
3 2月7日 (日)	A3 「異文化を理解する」って？」 田中美穂子 (社会福祉法人さほうと21)	B3 「やさしい日本語」 岩田一成 (聖心女子大学 現代教養学部)
4 3月7日 (日)	A4 「上手な聴き手になるには？」 大瀧敦子 (明治学院大学 社会学部社会福祉学科)	B4 「日本語学習支援のきそのきそ・その1」 岩田一成 (聖心女子大学 現代教養学部)
5 3月14日 (日)	A5 「外国人からの相談を受けたら？」 新居みどり (NPO 法人国際活動市民中心/CINGA)	B5 「日本語学習支援のきそのきそ・その2」 岩田一成 (聖心女子大学 現代教養学部)

※A1, B1, B2 (★) の講座については、過去に本講座修了の方も受講可能です。

■対象：地域日本語教室でボランティアとして活動を始めて間もない方 20名

■会場：ZOOMでのオンライン講座となります。

■申込方法：QRコードもしくは以下のメールフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/QSsVjcxgYYSgsgKa6>

期限：2021年1月15日(金) (定員に達し次第受付終了)

裏面申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくはFAXでご提出でもけっこうです。

※全回出席の方のご受講を優先させていただきます。



主催：社会福祉法人 さほうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

さほうと21は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

【A】 キーワード「多文化共生」「外国人住民」	【B】 キーワード「地域日本語教育」「実践」
A 1 (毎回講師が変わります) 外国にルーツをもつ方からの視点で見る「 多文化共生の社会の中で、地域日本語教室に期待される役割 」(「多文化共生社会日本」の現状や課題を知り、地域日本語教室に期待される役割を考える)	B 1 (毎回地域・講師が変わります) 「地域での日本語教育の実践に学ぶ」 (地域の日本語教育に関わる方の実践を聞き、活動の広がりや面白さ、課題を共に考える) ※できる限り、学習当事者からもお話しいただく
A 2 「日本に暮らす外国人にとっての「在留資格」とは？」 (「在留資格」についての基本知識を学び、在留資格により日本に暮らす外国人にどのような可能性と拘束が生ずるのかを知る)	B 2 (毎回分野・講師が変わります) 「●●への日本語教育を知る」 (「特定分野の学習者を対象とした日本語教育(日本語学校、技能実習生、介護人材など)」を知り、地域日本語教室の果たすべき役割を考える) ※できる限り、関係する学習者にお越しいただき、お話しいただく
A 3 「異文化を理解する」って？」 (参加者皆でワークに参加し、「異文化を理解する」ということ、「異文化の中に身をおく」ということについて実感をもって学ぶ)	B 3 「やさしい日本語」って？」 (外国人とのやりとりで必須の「やさしい日本語」について、その必要性を確認しつつ、「やさしい日本語力」を身につける)
A 4 「上手な聴き手になる」には？」 (「聴くこと」の専門家からお話を聞き、日本語学習支援に必須の「聴く力」について、その必要性を知り、「聴く」の基礎を学ぶ)	B 4 「日本語学習支援のきそのきそ・その1」 (地域日本語教室での活動を楽しみ、有意義な活動ができるよう、「日本語」について学び、「日本語学習支援」について考える)
A 5 「外国人からの相談を受けたら？」 (「外国人からの相談にどう対応するか、しないか」を考え、あわせて外国人住民の「相談先」や「拠り所」の情報を得る)	B 5 「日本語学習支援のきそのきそ・その2」

◆「修了証」の発行について◆
 「活動基礎講座」は2017(平成29)年度より定期的に関講することを目指してスタートしました。A1～A5、B1～B5の全10講座を受講した方には、さほうと21より「修了証」を発行します。例えば、今期は事情があつて一部講座の受講がかなわなかった方も、次期講座で同種の講座を受けてくだされば、「修了」とみなします。何か効力がある修了証ではありませんが、一つの学びの証としておもちいただければと思います。

申込書送付先

メールアドレス: kensyu@support21.or.jp FAX番号: 03-5449-1332
 郵送先: 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

活動基礎講座 参加申込書	
【お名前】 <small>ふりがな</small>	【お電話番号】 ※ご連絡が取りやすい番号の記入をお願いいたします。
【ご住所】 〒 _____ 都 _____ 県 _____	
【Eメールアドレス】 _____@_____	
【ご所属(ボランティア教室など)】 名称: _____ 活動地域: _____ 活動歴: _____年 _____月	
●今回、参加できない回があれば、事前にお知らせください。また、ご質問等があれば、お書きください。	
●今後、当会が主催する講座のご案内やニュースレター等のご送付を希望されますか。(はい・いいえ)	

※ご記入いただいた情報は、無断で本講座以外の目的に使用することはありません。